



# 請求設定

## Licenses and subscriptions

NetApp  
November 18, 2025

# 目次

請求設定	1
ライセンスとサブスクリプションの課金設定について	1
権限	1
請求設定	1
フィールド	2
請求オプションと定義	3
請求設定を管理する	4
請求設定を行う	4
カスタムCVO構成を有効にする	5
マーケットプレイスの設定を編集する	5
請求の変更を確認または元に戻す	5

# 請求設定

## ライセンスとサブスクリプションの課金設定について

課金設定により、アクティブなライセンスとサブスクリプションの支払いと更新の動作をどのように処理するかを決定できます。これらの設定は、すべての課金関係に影響を与えるようにグローバルに適用することも、特定の契約に独自の構成が必要な場合は個別のサブスクリプション レベルで適用することもできます。

- マーケットプレイス サブスクリプション は、使用料がハイパースケーラー アカウントを通じて請求されるクラウド マーケットプレイス契約 (AWS、Azure、または Google Cloud) に対応します。
- 直接ライセンス は、NetAppから直接購入され、ライセンス キー、請求書の受取人、および更新オプションを通じてNetApp Consoleで管理されるライセンスを表します。

調達モデルに応じて、組織がサービスを割り当て、支払う方法を設定できます。

### 権限

NetApp Console内のライセンスとサブスクリプションの管理は、ユーザー ロールを通じて制御されます。これらのロールは明確なアクセス レベルを提供し、この機能に対してユーザーが実行できる特定のアクションを有効化または制限します。

ロール	説明
管理者	<p>このロールを持つユーザーは、ライセンスとサブスクリプションを完全に制御できます。管理者ユーザーは次のことができます：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• すべてのライセンスとサブスクリプションを表示します。</li><li>• 新しいライセンスを追加します。</li><li>• サブスクリプションをアカウントに関連付けます。</li><li>• 既存のライセンスの詳細を変更します。</li><li>• ライセンスを削除するか、サブスクリプションの関連付けを解除します。</li></ul>
視聴者	<p>このロールを持つユーザーには読み取り専用アクセス権があります。閲覧ユーザーは次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• すべてのライセンスとサブスクリプションを表示します。</li></ul>

### 請求設定

課金設定により、使用料と更新が正しく適用されるようになります。これらを適切に構成すると、請求に関する紛争が減り、NetAppが所有する容量とマーケットプレイスで購入した容量を組み合わせたハイブリッド ライセンス モデルの管理が容易になります。

たとえば、グローバルな課金設定により、請求書の連絡先リストを統合して、すべてのサービスで1人の課

金管理者を共有できます。また、コスト センター タグを使用して、部門や地域間での使用状況を調整したり、自動更新を有効にしてサービスの中断を防いだりすることもできます。新しいCloud Volumes ONTAP (CVO) のデプロイメントでは、ここで定義した課金モードが自動的に継承されるため、新しいシステムが追加されても組織のチャージバック モデルの一貫性が保たれます。

課金設定は、NetApp Consoleの **Licenses and subscriptions** セクションで構成されます。

そこから、次のことができます。

- 組織の請求設定を行う
- 高度なマッピングのためのカスタム CVO 構成を有効にする
- マーケットプレイスのサブスクリプションの詳細を編集または更新する

## フィールド

課金フィールドには、各ライセンスまたはサブスクリプションの課金方法に関するメタデータが保存されます。請求先、更新方法、各サービスが属するアカウントまたはコスト センターについて説明します。

### マーケットプレイスフィールド

マーケットプレイス フィールドは、AWS、Azure、Google Cloud などのクラウド プロバイダーから発信された契約を記述します。これらのフィールドは、NetApp Consoleがサブスクリプションをプロバイダーのマーケットプレイスに保存されている請求情報と接続する方法を定義します。また、更新、地域の割り当て、請求アカウントの管理方法も制御します。

- マーケットプレイス プロバイダー — 課金が処理されるクラウド プラットフォームを識別します。サポートされる機能、契約タイプ、更新ルールはプロバイダーによって決定されます。たとえば、AWS Marketplace サブスクリプションではアカウントベースの課金を使用されますが、Azure ではアカウントベースとテナントベースの両方のモデルがサポートされる場合があります。
- 請求アカウントまたはサブスクリプション ID - 料金の処理に使用されるアカウントの一意の識別子を指定します。これにより、使用状況データが正しいクラウド課金プロファイルに課金されるようになります。
- 契約期間 — サブスクリプションの期間と更新設定を定義します。

### 直接ライセンスフィールド

直接ライセンス フィールドは、クラウド マーケットプレイス経由ではなく直接購入されたNetApp管理契約に適用されます。これらは、NetApp がお客様に請求する方法、料金の送付先、請求書に記載される法人を定義します。これらのフィールドは、注文書や集中化された企業請求を使用する組織にとって重要です。

### Keystoneフィールド

Keystoneフィールドは、NetApp Keystoneサブスクリプション契約に該当する使用に適用されます。これらにより、従量制サービスの使用状況をKeystone の課金プロファイルに接続し、サブスクリプション データを他の容量ベースのライセンス モデルと一致させることができます。

- 契約 ID — Keystone契約の一意の識別子。NetApp Consoleの請求レコードをKeystone契約にリンクし、使用状況レポートの同期を可能にします。
- サービス範囲 — Keystone契約の対象となるサービスまたは容量プールを一覧表示します。このフィールドは、契約に含まれるワークロードまたはデプロイメントを明確にし、適格なリソースのみがKeystoneを通じて課金されることを保証します。

## 請求オプションと定義

課金オプションは、複数の課金ソースが接続されている場合に、NetApp Consoleが優先順位をつけて使用料金を適用する方法を定義します。最初にどのアカウントに課金するか、容量制限に達したときにNetAppライセンスとマーケットプレイス サブスクリプション間で課金を切り替える方法を制御します。

### 条件とオプション

組織の調達戦略に応じて、請求モードを選択できます。

- **\* NetAppライセンスを優先\*** — アクティブなNetAppライセンスを通じて課金を優先します。これらのライセンスの容量が使い果たされると、使用量はリンクされたマーケットプレイスのサブスクリプションに自動的に引き継がれます。
- **マーケットプレイス サブスクリプションのみ** — NetAppライセンスをバイパスし、すべての請求をマーケットプレイス契約を通じて行います。これは、クラウド プロバイダーの請求を通じて調達を標準化する組織では一般的です。
- **PAYGO (Pay-As-You-Go)** — 実際の使用量に対してのみ請求されます。
- **年間契約** — 定義されたサブスクリプション期間を固定します。
- **自動更新** — ライセンスまたはマーケットプレイス契約の有効期限が切れたときに自動的に継続できるようにします。このオプションを無効にすると、サービスの中断を防ぐために手動で更新する必要があります。
- **カスタム CVO 構成** — 複数のマーケットプレイス サブスクリプションを単一のハイパースケーラーにマッピングできます。これは、同じクラウド環境内で異なるビジネス ユニットまたはプロジェクトに個別の課金アカウントが必要な場合に役立ちます。

### 一般的な構成パス

次の例は、さまざまな課金設定が一般的なケースとどのように一致するかを示しています。

シナリオ	推奨される請求オプション
組織がNetAppの容量を直接購入した	* NetAppライセンスを優先*
すべての使用料はマーケットプレイス契約を通じて請求されます	マーケットプレイスサブスクリプションのみ
1つのクラウドプロバイダーで複数のプロジェクトに請求する	カスタムCVO構成を有効にする
シンプルな単一ソースの課金設定に戻したい	カスタムCVO構成を無効にする

たとえば、直接のNetAppライセンスとマーケットプレイスのサブスクリプションの両方を組み合わせた組織を考えてみましょう。一般的な構成では、マーケットプレイスの課金前にプリペイド容量を使用するために、デフォルトの課金モードとして \* NetAppライセンスを優先\* に設定します。次に、カスタム CVO 構成で、各ハイパースケーラー (AWS、Azure、Google Cloud) に対応するサブスクリプション ID が割り当てられます。

これらの設定を保存した後、管理者は **Licenses and subscriptions** の下のマッピングを確認し、各サービスが正しいアカウントを指していることを確認できます。さらに検証するには、NetApp Consoleの使用状況データをクラウド課金ダッシュボードと比較し、必要に応じてコスト センターのタグや連絡先を調整して、レポートの一貫性を維持できます。

# 請求設定を管理する

NetApp Consoleで課金設定を構成して管理し、組織のアカウントに容量使用量、更新、請求書を適用する方法を制御できます。課金設定により、使用料がNetAppライセンス、クラウド マーケットプレイス契約、またはKeystone契約のいずれから発生するかが決まります。

開始する前に

- 管理者 ロールにアクセスできます。
- 関連するすべてのマーケットプレイス サブスクリプションが組織にリンクされます。
- \*ライセンスとサブスクリプション\*の既存の構成を確認しました。

## 請求設定を行う

コンソールが課金ソース全体に使用料金を適用する方法を選択できます。これにより、どのアカウントに最初に請求されるか、および更新がどのように処理されるかが決まります。

手順

1. NetApp Consoleで、\*管理 > Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*請求設定\*を選択します。
3. 次のいずれかの課金モードを選択します。
  - \*最初にNetAppライセンスを使用\* – 最初にNetAppライセンスを使用し、その後、追加の使用にはマーケットプレイス サブスクリプションを使用します。
  - マーケットプレイス サブスクリプションのみ – すべての使用量をマーケットプレイス サブスクリプションを通じて直接請求します。
4. **Marketplace** サブスクリプション で、各ハイパースケーラー (AWS、Azure、Google Cloud) のサブスクリプションを選択します。
5. 単一のハイパースケーラーで複数のサブスクリプションを使用する場合は、カスタム **CVO** 構成 を有効にします。
6. (オプション) \*請求書連絡先\*と\*通知連絡先\*を更新します。
7. (オプション) 請求を内部会計コードに関連付けるには、コスト センター タグ を入力します。
8. \*変更を保存\*を選択します。
9. プロンプトが表示されたら、確認ダイアログを確認し、「確認」を選択します。

結果

NetApp Consoleは課金マッピングを更新します。今後のサービス料金と更新では、選択した構成が使用されます。



課金モードを変更すると、サービス料金の適用方法が再分配されます。新しいCloud Volumes ONTAP (CVO) インスタンスは、選択した構成を自動的に継承します。

## カスタムCVO構成を有効にする

カスタム CVO 構成を使用すると、同じハイパースケーラーで複数のマーケットプレイス サブスクリプションを割り当てることができます。組織が個別のビジネス ユニットまたは環境ごとに異なる請求アカウントを管理している場合は、このモードを使用します。

### 手順

1. NetApp Consoleで、\*管理 >Licenses and subscriptions\*を選択します。
2. \*請求設定\*を選択します。
3. **Marketplace** サブスクリプション で、カスタム **CVO** 構成 を有効にします。
4. 変更を保存を選択します。

### 結果

同じハイパースケーラーの下にある個々のCloud Volumes ONTAPインスタンスに特定のマーケットプレイスサブスクリプションを割り当てることができるようになりました。



これを有効にすると、課金設定 からカスタム CVO 構成を元に戻すことはできません。これを無効にすると、すべての CVO 課金がデータ サービスの標準課金構成にリセットされます。

## マーケットプレイスの設定を編集する

マーケットプレイスの構成詳細を編集して、サブスクリプションをクラウド プロジェクトに関連付けたり、契約情報を更新したりできます。

### 手順

1. \*Licenses and subscriptions\*を開きます。
2. \*請求設定\*を選択します。
3. 次のビューを選択します。
  - マーケットプレイスのサブスクリプション名
  - クラウドプロジェクト
  - サブスクリプションタイプ (年間またはPAYGO)
4. \*変更を保存\*を選択します。

### 結果

新しい構成はすぐに有効になり、課金データがクラウド プロバイダーと同期されます。



1つのサブスクリプションを複数のクラウド プロジェクトにマップするには、まず **カスタム CVO** 構成 が有効になっていることを確認します。

## 請求の変更を確認または元に戻す

請求設定を更新するたびに、誤って変更されないように確認が必要になります。

### 変更を確認する

1. 請求設定を編集した後、「変更を保存」を選択します。
2. 確認ダイアログで概要を確認します。
3. 更新を適用するには「保存」を選択し、更新を破棄するには「キャンセル」を選択します。

#### 標準請求に戻す

1. \*課金設定\*を開きます。
2. カスタム **CVO** 構成 を無効にします。
3. プロンプトが表示されたら、標準構成に戻すことを確認します。

#### 結果

CVO インスタンスは、他のデータ サービスに使用されるデフォルトの標準課金方法に戻ります。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。